

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

皆さんには、日頃から町政へのご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。近年は、日本だけでなく地球上において、異常気象による甚大な災害が起きています。大津町においても、「平成24年7月九州北部豪雨」や「平成28年熊本地震」を経験し、災害に強い安心・安全なまちづくりに向けて取り組んでいるところですが、平成29年7月九州北部豪雨の想像を超える被害状況に身の引き締まる思いがいたしました。

災害に強いまちづくりに向けた取り組みとして、昨年7月に、滋賀県大津市と「災害時相互応援に関する協定」を締結しました。大津市は、平成28年熊本地震が発生した際に、同じ「大津」という地名であるという縁で、いち早く支援に駆けつけてくださいました。大津市の皆さんからのご支援が、大津町の復旧・復興に大きく貢献したことは言うまでもありません。今後は、大津市とともに、平時からも災害対策などの情報交換や人事交流を活発に行い、この協定をより強いものにしていきたいと考えております。他にも、イオンやコメリとの災害時における食糧や物資供給に関する協定の締結や、非常食および防災物資の備蓄

ができる楽善防災倉庫の設置が完了しており、町民の皆さんが安心できるまちづくりを進めているところではあります。

昨年11月には、町総合運動公園の多目的広場を人工芝へリニューアルいたしました。総合体育館についても、3月末には熊本地震からの復旧が完了し、利用が再開されます。この新しくなった施設を、ぜひとも町民の皆さんの健康増進に活用していただくとともに、日本サッカー協会の公認を得ている多目的広場を活用したスポーツコンベンションの町を実現し、町の更なる発展に繋げてまいります。

また、本田技研工業(株)熊本製作所で生産されている「スーパーカブ」が、「世界生産累計台数1億台」という世界初の快挙を成し遂げました。スーパーカブの発売開始から今年で60年となります。熊本製作所で生産されたスーパーカブ号が、熊本地震からの復興を後押しし、今後も大津町から世界を盛り上げてくれるものと期待しております。

今年、新しい振興総合計画「第6次大津町振興総合計画」を策定する年です。振興総合計画は、今後8年間のまちづくりの羅針盤となる重要なものです。これまでの振興総合計画を見直し、少子・高齢化社会に向けた総合的な取り組み

みや効率的・効果的な行政運営、熊本地震からの復旧・復興を踏まえた上で、将来を担う子どもたちを育み、豊かな自然を次世代へ継承するためのよりよいまちづくりを目指します。私としましては、これまで築いてきた「宝の山・大津町」を守り、磨き・創り上げ、

現のため、町民の皆さんと心をひとつにしてまちづくりに取り組んでまいります。まずは、地域共生社会へ向けた人材育成や、庁舎建設に全力で取り組んでまいりますので、本年も町政に対するご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、町の3大イベント「つつじ祭り」「地藏まつり」「からいもフェスティバル」は、それぞれの季節や旬の食を味わうことのできる楽しいイベントです。年々賑わいを増していますので、ぜひ皆さんも一緒に参加して大津町を盛り上げていきましょう。本年が皆さんにとって素晴らしい年となりますよう、皆さんのご健康とご多幸を心より祈念申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

大津町長 家人 勲
副町長 田中 令児
教育長 齊藤 公拓

あけましておめでとうござ

平成30年を迎え、議会を代表して謹んでごあいさつ申し上げます。

町民の皆さんをはじめ各方面におかれましては、平素から町議会に對しまして温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。平成28年4月に発生した熊本地震から1年9カ月が経過しました。

町民の皆さんが1日でも早く、安全で安心して暮らせるよう、議会といたしまして、町民の視点に立ち、議会一丸となって、熊本地震からの復旧、復興に取り組んでまいります。昨年の3月より、新たな議会体制で町民の皆さんの応援団として、スタートさせていただきました。

昨年は、役場庁舎が解体され、寂しい思いもある中で、「JR肥後大津駅」が「阿蘇くまもと空港駅」として愛称化され、観光の拠点として動き出し、町の運動公園に人工芝のグラウンドも完成し、スポーツを通じた交流の拠点整備など、地域の活性化につながる取り組みもスタートしました。

議会関係では、次の世代を担う青少年が、「町や議会の仕組みを理解し、政治を身近なものとして感じ、住みよいまちづくりの意識を高めること」を目的とした「ジュニアリーダー夢議会」が開催されました。今までの中学生議会に加え、大津高校、翔陽高校、大津支援学校の皆さんも含めた代表10人が議員となつて、まちづくりに関する提案や提言をするもので、中高生ならではの創意工夫に富んだ感性豊かでフレッシュな発想と視点から、議員顔負けの本格的な提案もあり、本物の議会さながらの熱い議論が交わされました。

また、新庁舎建設に向けた議会特別委員会を設置し、町民意見の反映や庁舎機能、まちづくりの拠点、災害対策機能、整備や情報発信などを含めた8項目を取りまとめた「新庁舎建設に関する提言書」を町に提案し、今後の新庁舎設計や建設を進めていきます。

更には、災害時に議会の果たす役割を明確にする「大津町議会災害時対応基本計画」を策定し、町の総合防災訓練に合わせ、議会独自の防災訓練を実施し、今後の対応についても協議

をしたところです。

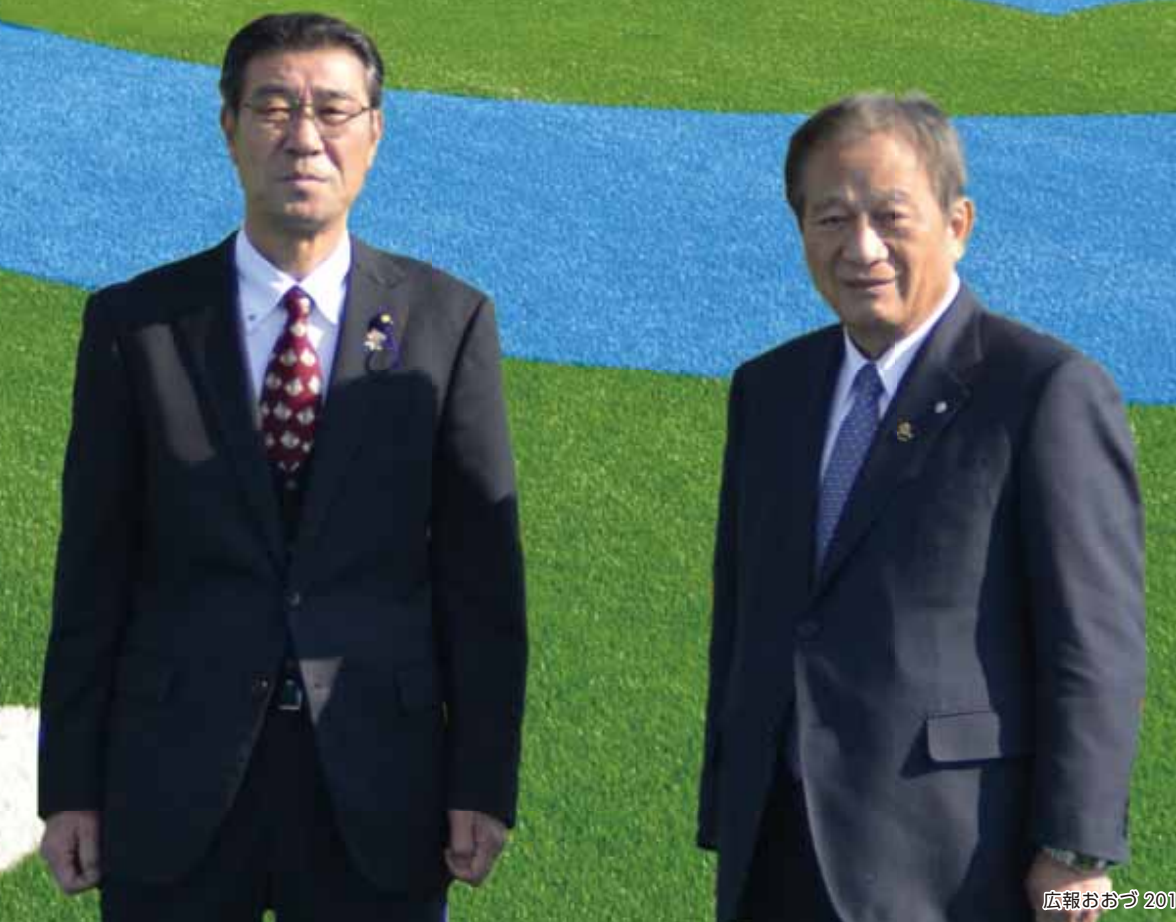
併せて「議会だより」の充実をはじめ、新たに町民の皆さんの「ご意見」や「ご要望」をお寄せいただく取り組みもスタートさせ、議会のさらなる充実と活性化を進めております。

今後も、熊本地震からの復旧、復興のスピードを上げ、希望にあふれ、魅力ある新しい町づくりの実現に全力で取り組むとともに、議会の透明性を高め、情報発信を強化し、町民の皆さんとの対話を大切にしながら、身近で活力ある議会を目指してまいります。

最後になりましたが町民の皆さんのご健勝、ご多幸を心よりご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

- 大津町議会議長 桐原 則雄
- 町議会議員
- 三宮 美香 山部 良二
 - 山本富二夫 金田 英樹
 - 豊瀬 和久 佐藤 真二
 - 本田 省生 府内 隆博
 - 源川 貞夫 大塚龍一郎
 - 坂本 典光 手嶋 靖隆
 - 永田 和彦 津田 桂伸
 - 荒木 俊彦

平成30年 新年のごあいさつ



町総合運動公園 多目的広場にて